



## 産業技術大学院大学が国際的な専門職教育向けに

### ロボットサービスイニシアチブ(RSi)との研究開発の成果を活用

- ◆モバイル端末向けロボットサービスアプリケーション『RSi CameraRobot』
- ◆研究開発サイト『RSi ロボットマップ』

本学（学長 石島辰太郎）は、ロボットサービスイニシアチブ（略称 RSi。代表:長島 是 三菱重工業株）との研究開発の成果である、**モバイル端末向けロボットサービスアプリケーション『RSi CameraRobot』と研究開発サイト『RSi ロボットマップ』を「2011 国際ロボット展」にて公開し、これらを活用した国際的な専門職教育を開始いたします。**

これらの研究成果は、インターネットを活用した多様なロボットとロボットサービスの普及と相互利用を実現するために策定している業界仕様である RSNP(Robot Service Network Protocol)に基づくものです。

『RSiCameraRobot』は、現在普及が著しいスマートフォンを RSi 仕様ロボットカメラとして動作させることにより、研究開発サイト『RSi ロボットマップ』で提供する見守りサービスを受けることができるようにするアプリケーションです。（詳細別添資料）

研究開発サイト『RSi ロボットマップ』は、研究者がインターネット上で様々なアイデアを試みることのできる開発/実行環境サイトで、接続しているロボットの位置をサイト内の地図上で示すことができます。また、ロボットカメラの画像をインターネット経由でモニターする「見守りサービス」も提供されています。（詳細別添資料）

なお、産業技術大学院大学は、従来からベトナム国家大学と共同で、本学の学修の特色である PBL（Project Based Learning 「問題解決型学修」）を実施し、専門職技術者教育の一環としてグローバルな視野を持つ専門職技術者教育を行っています。**今後、「RSiCameraRobot」と「RSi ロボットマップ」を用いた国際 PBL を開始するとともに、「これらを具体的にどのように活用していくか」をテーマとした企画型の PBL（※）を実施していきます。**

※ RSi のロボットサービスを PBL のテーマに採用したのは、現状、インターネット上のソフトウェアや携帯アプリケーションの開発、ハードウェアとソフトウェアの双方を統合した開発が必要とされており、専門職技術者として今後必要となるスキルが得られると考えられるためです。

**2011 国際ロボット展に出展！** 各技術の研究開発成果を実際に紹介します。

「RSiCameraRobot」、「RSi ロボットマップ」をはじめ RSi ブースにて研究開発成果の詳細を紹介します。

日時：2011 年 11 月 9 日（水）～11 月 12 日（土）

会場：東京ビッグサイト

【問い合わせ先】

産業技術大学院大学管理部管理課

電話 03-3472-7832 Fax 03-3472-2790

● モバイル端末向けロボットサービスアプリケーション『RSi CameraRobot』 ●

RSiCameraRobot は、スマートフォンを RSi 仕様のロボットカメラとして動作させることで、カメラの前の様子を遠隔からモニターする見守りサービスを大型のサービスロボットと同様に受けることができるようにするアプリケーションです。これを使うことで、サービスロボットを持たない多くの開発者が容易にロボットサービスを開発したり、これをもとに小型のロボットを試作できる等の特徴があります。これは国際化対応しており、グローバルな利用が可能です。

RSiCameraRobot は iPhone の他、iPad2 や iPod touch で動作し、AppStore<sup>SM</sup>からグローバルに無償で入手できます。今後、Android<sup>TM</sup>携帯向けのロボットカメラも提供していきたいと考えています。



- ◆ 図 1 動作中の RSiCameraRobot
- ◆ スマートフォンが撮影している画像を、インターネット上の PC からモニターすることができます。

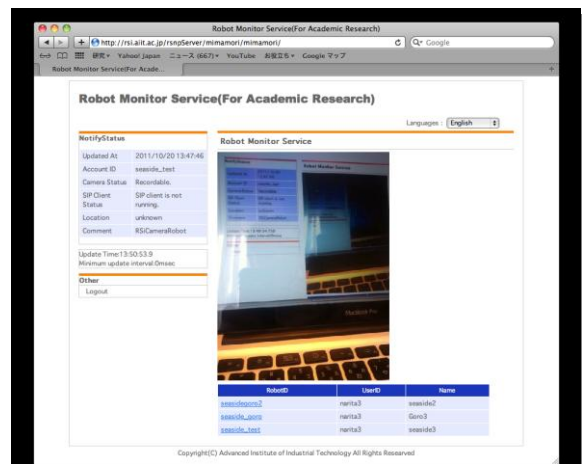
- \* 「iPhone」、「iPad」、「iPod touch」や「App Store」は Apple Inc. の登録商標または商標です。
- \* 「Android」は Google Inc.の商標です。

● 研究開発サイト『RSi ロボットマップ』 ●

RSi ロボットマップは、研究者がインターネット上で RSiCameraRobot に関する様々なアイデアを試みることのできる開発/実行環境サイトです。このサイトでは、サービスとして接続しているロボットの位置を地図上で示す RSi ロボットマップ<図 2>、ロボットカメラの画像をインターネット経由でモニターする見守りサービスが提供されています<図 3>。このサイトは国際化されて英語での表示も可能で、英語圏やアジアから 24 時間利用可能です。



◆ 図 2 研究開発サイト「RSi ロボットマップ」



◆ 図 3 見守りサービスの画面  
国際化されて英語圏やアジアからの利用も可能

### ロボットサービスイニシアチブ(RSi)について

RSi(<http://www.robotservices.org>) (代表：長島 是 三菱重工業株式会社)は、ロボットによる通信ネットワークを活用した魅力あるサービス(ロボットサービス)を簡単かつ便利に利用できる社会を目指し、相互運用性のあるロボットサービスについて関連団体と協力・連携しながら仕様の作成・公開、実証実験、普及促進を行うことを目的に設立された団体です。

現在、産業技術大学院大学のほか、三菱重工業株式会社、富士通株式会社、株式会社富士通研究所、株式会社東芝、一般財団法人日本気象協会、日本電気通信システム株式会社、株式会社セック、株式会社安川電機、株式会社ライトウェア、公立はこだて未来大学の11団体が正会員となっています。また、奈良先端科学技術大学院大学、中京大学、独立行政法人産業技術総合研究所、東京大学大学院、名城大学、金沢工業大学、名古屋工業大学大学院、芝浦工業大学、首都大学東京の9研究機関が、協力会員として参加しています。

### 産業技術大学院大学について

公立大学法人首都大学東京が設置する専門職大学院。東京都の産業振興に寄与する高度専門技術者の養成を目的としている。高度な専門知識と体系化された技術ノウハウを活用して、新たな価値を創造し、産業の活性化に資する意欲と卓抜した業務遂行能力を持つ高度専門技術者の養成を目指している。通常の大学院が研究者の育成を目的としているのに対して、高度専門技術者の養成を目的とした大学院大学（専門職大学院）である。社会人の学生が多い。

クォーター制（4学期制）、PBL（Project Based Learning）型教育、講義支援システム、KHP（修了後10年間、講義の映像をインターネット経由で無料視聴できる）、長期履修制度、AIIT単位バンク、平日夜間・土曜昼間開講等の特徴がある。